

岐阜県の プラスチック

東京・ビッグサイトで開かれた日用品フェアの会場視察記
『事業再構築雇用管理推進事業』の事業を相次いで開催
——ミドル層教育・先進工場見学・熟練技術の伝承——
7会場で時間短縮自主点検事業の地域別研修会を開く
家庭用品品質表示法が改正・施行…自主表示で直接責任負う
デザインの心16
組合員の工場訪問・西濃化成(株)
事務局だより

『日用品優秀製品コンクール』で、八幡化成(株)が長官賞と理事長賞を受賞



需要喚起への意気込みに圧倒

ビッグサイトの日用品フェア視察

組合員2社が出品、新商品売込む

岐阜県プラスチック工業組合は『製品開発事例』を最も端的に知る方法として、10月14日から2日間、新しい東京国際見本市会場・東京ビッグサイトで開催された『第22回・全日本プラスチック日用品フェア』の視察旅行を行った。この事業は事業再構築雇用管理推進事業の一環として実施したもので、一行は東京湾の埋立地に誕生した新しい国際見本市会場のスケールと、プラスチック日用品業界の需要喚起への意気込みに圧倒された。

なお、当工業組合からは2社が出品、東京市場へ新商品の数々を売り込んだ。

トレード色を強めた東京での開催

プラスチック日用品フェアは、昭和51年に大阪で初開催し、いらい大阪で10回、東京で9回神戸で2回開かれた。開催のきっかけは日本プラスチック日用品工業組合が大松幸栄理事長時代に「組合員がジャパンプラス'74へ共同出品したのを契機に単独展」とし、毎年、業界あげて開催を続けてきた。

今回は1月開催から10月開催に変更した初の東京開催で、主催者側では「トレード色を強めることに成功し、また、需要喚起と業界の活性化を図ることができた。同時に製品を通じて生活文化の再構築に貢献することもできた」また、プラスチック日用品業界は、末端の低価格志向と四次にわたる原料値上げの板挟みとなって、経営環境で厳しい環境に立たされており「フェアを打開の契機にしたつもり」と話していた。

ビッグサイト2ホールを活用

開催規模は6ホールある東京ビッグサイトの2ホール、合計1万7千平方メートルを活用

して行なわれた。出展したのは118組合員・団体で645小間。非組合員の出展は、16社34小間で、過去最大の展示規模となった。

会場内は、展示製品が日用品だけにカラフルで花やか。目立ったのはさる3月、工業組合が事業再構築雇用管理推進事業で工場視察した奈



視察旅行に参加した工業組合のメンバー

良県・岩崎工業など日用品を主力とする5社。いずれも20小間の大スペースを確保し、展示方法も工夫されていた。

岐阜プラが新しいシリーズを発表

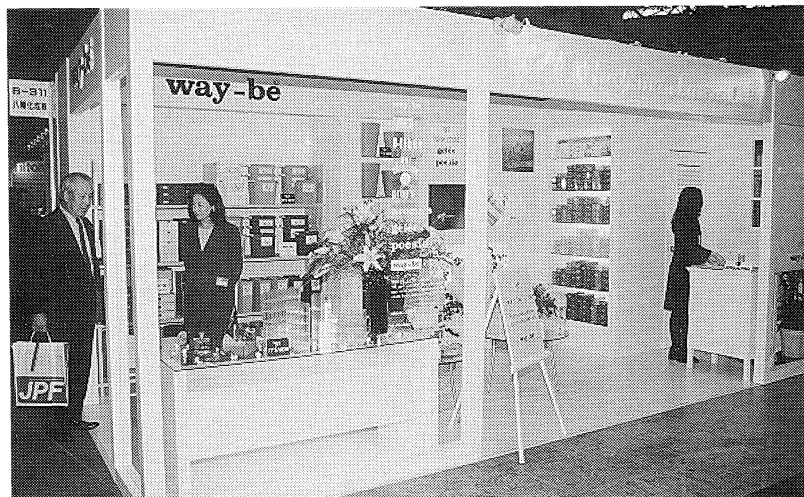
当工業組合から出展したのは、岐阜プラスチック工業（リスから出品）と八幡化成の2社。

岐阜プラスチック工業(株)は5小間を確保し、卓上用品、水回り用品、シールウェア、バケツ、ゴミ容器、ペタルペール、くず入れ、分類ゴミ容器、ダストペールなど、カラーバリエーションを加えると500アイテムを超える大量出品となった。

とくに好評だったクロワッサン・シリーズに



5小間を確保し「ホーム&ホーム」を出品した岐阜プラ(株)



Gマーク・ウェイビーを進化させた新商品群の八幡化成(株)



ビッグサイトのホールを結ぶ動く歩道

加え「ホーム&ホーム」の新しいブランドを発表、大いに気を吐いた。いずれも水回り製品で、特殊ベースに表面を改質材で覆るという新素材による成形。これによって撥水性、非粘着性、洗浄性を向上させたもので、商談に訪れた一人は「機能的なデザインと共に、今後のキッチンウェア市場の話題になるだろう」と話していた。

八幡化成の新製品 コンクールで入賞

もう一社は八幡化成(株)で、高垣美代子社長自ら小間に立ち、来客に説明していた。スペースは2小間ながら内容が濃い。バケツ、ゴミ箱、整理箱、小物収納グッズなど約150アイテムを出品した。

グッドデザインに指定されて大ヒットした「ウェイビー」がもつ美しいフォルムをさらに広げた「プロップス」「アロマ」「MDFコレクション」「ポエジー」さらにクリアな色調をもつ「ジュレ」など数々の新商品群を生み、紹介し、話題をまいていた。

さらに特筆したいのは日用品

工業組合が、フェア開催を記念に開いた「プラスチック日用品優秀製品コンクール」に、ゴミ箱「アロマ」が中小企業庁長官賞を、また、収納グッズ「MDFコレクション」が理事長賞を受賞したこと。「アロマ」はフォルムの美しさを「MDFコレクション」は木質繊維板を組み合わせたノスタルジックなデザインが注目されたからで、いずれも「プラスチック成形品の新分野を提案し、審査員から評価された」と主催者側で説明していた。

アイデアを活かした新商品が登場

会場の各小間を回って見ると「電子関連の成形メーカーがその技術を応用し、ポリカーボネ

ートを採用して、耐衝撃性の高い高密封容器を商品化していた」「O-157騒ぎがいぜん続いていることに目を付け、抗菌加工した食品類の商品化。140度の高熱洗浄や乾燥にも耐える」。

また「料理のレシピや調理の味付けメモリをプリントし、料理の本を見なくても分かるようにした各種容器」「カロリー表示付きのメジャーカップ」「組み立て式のストッカーやキャビネット類」など。流行のガーデニング用品では「インナーポットと受け皿を兼ねるカバー部との二重構造式ポット」など、アイデアを活かした成形品が登場していた。

最後に、フェア視察旅行に参加した工業組合のメンバーに、感想を聞いてみた。



各小間はスペースを確保し、展示にも工夫されていた



石油化学協会はガソリンと同量の樹脂を成形製品で紹介

すばらしい見本市会場 ハイセンス商品も表に

「日用品は商品寿命が短く、毎年、小売り業者から新製品が要求され、金型投資などのメーカー負担がたいへんだ」

「大阪開催よりバイヤーなど商社筋の来場が多い。また、一般客もかなり目立った。東京という大消費地を控えている強みと、すばらしい見本市会場・ビッグサイト。これを結ぶ新交通システム、海から入る有明客船など、交通網が備わっていることに感心した」

「日用品業界も価格破壊に苦しんだが、これからは単なる価格破壊では消費者を満足させることはできない。低価格商品とハイセンス商品に二極化する時代に入る」などと話していた。

「ミドル層教育の事例」でセミナーを開く

『事業再構築雇用管理推進事業』は最終年度へ

先進企業や廃棄物処理工場の見学会も

工業組合が、昨年度から取り組んでいる「事業再構築雇用管理推進事業」が相次いでいる。

9月の「ダイハツ工業(株)竜王工場見学」(前号で紹介)に続いて、10月には「生産管理技術向上事例…ミドル層教育」と「製品開発事例…全日本プラスチック日用品フェア見学会」11月には「製品技術開発事例…未来工業(株)本社工場見学」と「熟練技術の伝承…自動車生産における最近のシステム構築への取り組み」さらに「リサイクル対策…ペットボトル処理場見学」(次号で紹介)で、いずれも多く参加をえて実施組合員企業の事業再構築に参考になった。

(株)カトーメテックは、関市と可児市に工場があり、輸送機器部品のプレス金型設計製作、プレス加工、溶接組み立てなどを、従業員170人で月産2千万個生産している。生産に追いまわされていた平成2～3年までは人手が中心であったが、平成7年から「人材育成・企業の体質改善」を基本方針とし、ミドル層第一線管理者層に焦点を当てた教育研修活動を開始した。

基本姿勢は人在→人材→人財へ

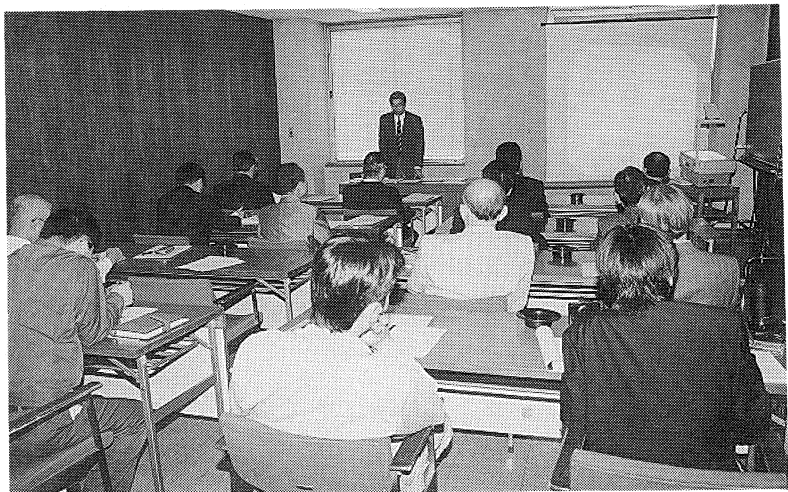
その基本姿勢は「人在→人材へ。そして人財へ」において、目的のある教育訓練①人材の育成②職場リーダーの育成③自己啓発への援助を行なった。訓練内容は、平成7年に全員参加の小集団活動を発足させ、サークルリーダーの社内教育を4回、全サークルメンバーの集合教育を8回実施した。

一方、生産現場の体質改善をねらって日本メンテナンス協会のTPM研究会(4日間18時間

問題のない職場はない

―経営側はきっぱりした態度で―

『生産管理技術向上事例』の紹介として行なった講演会は、10月6日(月)午前10時30分から岐阜産業会館5階会議室に(株)カトーメテック(可児市今渡)の高橋豊喜部長を招き貴重な事例を聞いた。内容は「ミドル層教育の事例」で人材育成方法を紹介するとともに人材育成が品質管理の改善にも大きな効果があったことを次のように紹介した。



生産管理技術向上事例としてミドル層教育の実例を聞く

コース)へ毎回幹部(86%の部課長)を派遣した。また、県職業能力開発協会を通じてTWI教育を課長・係長対象に実施。両工場で4コース(1コースは2時間×5回)行ない「仕事の教え方」「改善の仕方」をテーマに研修した。とくに「相手が覚えていないのは、自分が教えなかったから」を基本にOJT教育し、標準化に効果を発揮した。

品質改善し、納期達成率も上昇

教育訓練は「結果をフォローする」ことが大事で「何で今更」という受講者の反発から「会社が勝ち残るためにはヤルしかない」に変わり

その後、品質改善活動に活かされた。

教育の効果が全てかどうかは検討の余地はあるものの、工程内不良は0.03%から0.016%に低下した。さらに品質の優先が結果的には納期の達成率上昇にもつながり、実施前まで約95%だったのが99.5%まで良くなった。

こうしてミドル層教育に成果を上げたことについて高橋さんは「従業員が自分も受けないと取り残されてしまう」という危機感をもち「努力してくれた結果である」。何よりも大切なことは「問題のない職場はない。問題を問題と思わない管理者はいらない…とする経営側のきっぱりした態度である」と話しを結んだ。

「常に考え」他社と同じ物につくらない

未来工業の製品開発手法を聞く

【製品技術開発事例】では、11月12日午後、参加した35人が安八郡輪之内町にある未来工業(株)の本社工場に現地集合して行なった。未来工業(清水昭八社長、資本金52億1,326万円、従業員743人)は「独自の発想で全社員から自由に製品や技術について提案してもらい、積極的に採用しているユニークな会社」として知られるが、この日は総務部長の渋谷雅之さんから経営のあり方や開発方針を聞いた後、工場に入り製品や技術をつぶさに見聞した。

管から始まったが、今日では電気・ガス・水道の配電や配管に関する工具から付属機器にいたる9,700アイテムにもものぼる製品群を生産・販売している。

全社あげて取組む経営理念は「常に考える」で、清水社長は「一個人の提案で、そのまま物創りをしてはいけない。それを原点に、広範な人々の感性に触れさせ自己のアイデアを磨き加えて、よそと同じ物は造らないこと。これが

生まれたアイデア 全部で1,178件に

未来工業の創業は昭和40年、当時、西濃に旗揚げした劇団・未来座が発点だ。演劇集団が企業になったのは「一人で何かをするより、集団で事を起こすことの力に気が付いたから…」という。

最初は住宅用分電盤や電線埋設



「他社と同じ物につくらぬ」と話す未来工業の渋谷部長

売れる商品開発のコツ」と力説している。

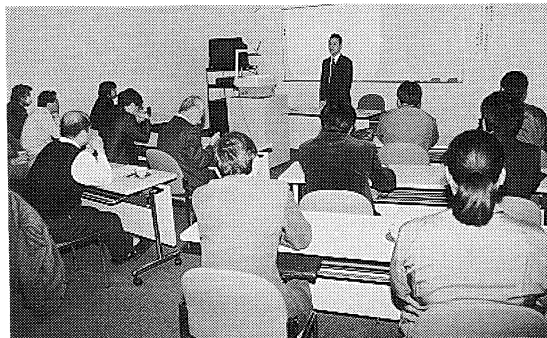
渋谷総務部長はその具体的な事例として「スイッチボックスにアルミを張り、壁を張った後でもすぐ分かるようにした。その結果、電材ばかりでなく、測定器具も良く売れ、売り上げが大いに伸びた」「プラスチック製のケーブル滑車をつくり、工具店でなく電材店ルートにのせた」「直線で持ち運びにくかった埋設管を巻き取りにし、長尺物を簡単に運べるようにした」「生まれた特許、実用新案、意匠登録などのアイデアは保護に努め、現在、許可を得ただけでも1,178件にのぼっている」など。

営業マンにはノルマをかけない

営業面では「ブランド製品に対抗する手段として、直接二次問屋へ売り、流通コストの削減分は問屋と2分している。請求書の数が多くなるデメリットもあるが、回収リスクが小さい」「営業マンにノルマはかけず、その代わり訪問先から製品への批判やアイデアを聞いてくる」「組織の上下に壁をつくらず、情報が早く流れるようにした」「1日の労働時間は7時間25分年間総労働時間は国が示す1,800時間をすでにクリアし、1,638時間になっている」という。この後、参加者は成形工場を中心に見学した。



見学する参加者。成形工場には「常に考える」の大看板。



講演する山本部長

市場ニーズに対応せよ

—— 熟練技能の伝承で講演会 ——

『自動車生産における最近のシステム構築への取り組み』をテーマとする講演会は11月20日県民ふれあい会館会議室で開催した。講師はダイハツ工業(株)の山本孝監査部長（前技術部長）で、事業再構築雇用推進事業の実施テーマである「熟練技術の伝承」を含めて話を聞いた。

ダイハツ工業(株)は、滋賀県に最新の軽自動車組立ラインのある竜王工場を持つ一方、池田市の本社工場には軽乗用車の手作り組立工場「熟練技能の伝承を目的にしたミゼット工房」を設け、新人の技能教育訓練を行っている。

山本部長は「ダイハツが軽乗用車の生産に力を入れたり、ミゼット工房をつくり熟練技術の伝承に取り組むのは、市場ニーズへフレキシブルでスピーディに対応していくため」と前置きし、成果を紹介した。

とくにミゼット工房は「ロボットやコンベヤーのない手作りライン。高年齢となった熟練技能者活用の中場として設けた。熟練者と若い人を組み合わせ、手作り作業をすることにより、ハイテクの登場によって失われていく熟練技能を伝承し、より優れた技術者に育てて、将来はメインラインの監督者になってもらう」と話していた。

県下7会場で地域別研修会を開催

週40時間制の定着へ自主点検事業

岐阜県プラスチック工業組合は、組合員企業における『週40時間労働制』の定着を図っていく必要から、労働省の助成事業『労働時間短縮自主点検事業』に取り組んでいる。

達成企業は回答の66%に

すでに全組合員企業を対象に『労働時間アンケート』を実施し、その結果、労働省が示した中小企業の目標値『週40時間労働、年間の休日105日、年間所定労働時間2,080時間』を達成した企業は、66.1%にのびりました。

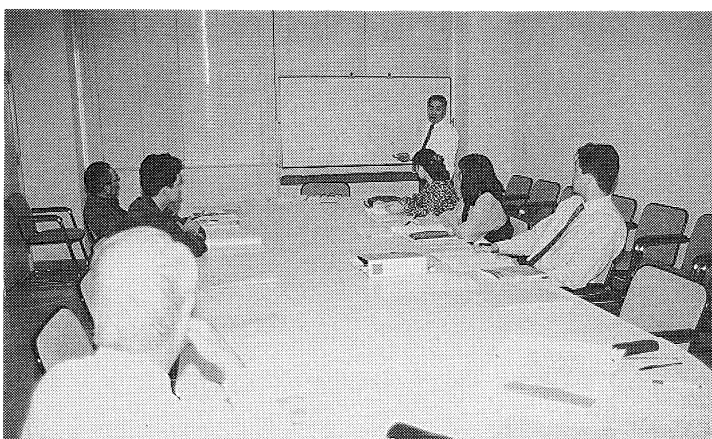
工業組合では続く事業の一環として、県内7地域に分けて地域別研修会を開催し、達成した企業には週40時間労働制の定着を、未達成企業には時間短縮への早急な対策と努力を要請している。

工業組合が取り組む週40時間制定着への問題点は「未達成企業各社への助言・指導」と「未回答企業の時短に対する取り組み状況の把握」である。

また、週40時間労働制実施後の「雇用面での対応策」「自動化などの生産面での対応策」さらには未達成企業があげた問題点として「生産性・売上高の確保」「人件費コストの吸収」「現在の経営状態の改善」などの解決策をあげることができる。

達成したら就業規則届を監督署へ

このため工業組合では、9月30日に美濃市で開催した『地域研修会』に続いて、関市（10月23日）各務原市（10月24日）美濃加茂市（10月28日）大垣市（11月14日）羽島市（11月18日）最後に岐阜市（12月11日）で開催し、労務士を通じて主旨を説明し、指導と個別相談を行なっ



地域別研修会、上は大垣市、下は美濃加茂市で

た。この地域別の研修会と並行して、未達成企業と未回答企業を巡回訪問し、主旨を説明、指導を実施しているところ。

今後、時間短縮を達成した企業は就業規則の改正、賃金制度の整備をしてもらうと同時に、各地域の労働基準監督署へ就業規則届（①従業員代表と交わした意見書を添える②変形労働時間制を採用した場合は、協定届と従業員代表と交わした協定書を添えること）を提出することが義務付けられている。なお、工業組合は今年度中に限り、個別相談を随時行ない、労務士を派遣（費用は組合負担）している。

社名と住所か電話番号を表示

……家庭用品品質表示法が改正・施行……

自主表示で直接責任を負う

『家庭用品品質表示法』に示された合成樹脂加工品品質表示規定が改正され、12月1日に施行となった。前回の改正、昭和54年いらい18年ぶりの改正となった。

プラスチック加工製品は多様化、複雑化、高度化が進み、さらに国際化による規制緩和への進行が叫ばれ、改正となった。内容的には業界の意向が取り入れられ「必要最小限の範囲」となったものの「責任が官から民へ移行」し、企業は直接責任を負うことになった。

現行の金型は改造しなくてもよい

《改正の内容》 ①表示対象品目を原則的に減らす②表示項目を減らす→耐冷温度、耐熱温度等③品質表示に自主表示を同じ場所に加えること④金型刻印による表示にこだわらない⑤原料樹脂の見直し→新規には「ポリメチルペンテン」「メタクリルスチレン」を加える。また、「セルロースアセテート」「グアナミン」は削除する⑥表示枠を廃止→見易い所に自由表示する

⑦文字の大きさ、書体は自由

⑧承認番号制度の改善→原則

廃止⑨「簡略表示」の廃止→

再交渉の結果復活→などが主

な改正点である。

この表示方法の改正で、従来、原則刻印表示であったものを表示者（発売するメーカー・商社）と住所（または電話番号）とし、取り扱い上の注意は本体刻印、本体印刷、ラベル貼りつけなどを行なう。その他の表示（原料樹脂名、耐熱温度）は包装への印刷、ラベル、下げ札でもよい。

この他、成形加工業界の要望を受けて①在庫品への新表示は、告示後3年間で終了すること②現行の金型は改造しなくてもよい③現行の番号は管理上認めるが、社名、住所または電話番号は消費者が分かるように表示する④新製品は施行後、1ヵ月後には正しく行なう→などの点が認められた。

なお、法改正の委員会には中部日本プラスチック成形協会から岐阜プラスチック(株)の下村康夫氏ら2人が参加した。表示内容の審議に当たっては下村氏が委員長となり、業界の考え方を強く要望、最小限の範囲にとどまった。

1級3人、2級15人合格

└ 今年の技能検定、まずまずの成績 ─

平成9年度の『プラスチック射出成形技能検定』は、実技・学科とも試験を終わり、10月3日に合格者の発表が行なわれた。

県全体では1級4人（合格率30%）2級21人（合格率50%）であった。このうち工業組合関係の合格者は1級3人、2級15人で、前年同様のまずまずの成績となった。

2級検定は実技・学科ともで42人が受検した

が、新規受検者の合格が目立ち、半数を上回った。また1級は実技・学科ともで13人が受検し学科の合格率は66%と良かったものの、実技合格が25%とかなり低かった。

検定合格者への証書伝達式は、新春1月24日（土）午後、岐阜グランドホテルで開催する工業組合の『新年互礼会』の席上で行なう。

なお、第18回岐阜県職業能力開発促進大会が11月13日、岐阜産業会館で開かれ、1級合格の荻曾守さん（岐阜プラ(株)）2級合格の中井裕治さん（岐阜プラ(株)）の2人が表彰を受けた。

デザインの心—16

環境と商品開発について…思索

岐阜県プラスチックデザイン協会

地球環境破壊の問題は、便利な人間社会を構築しようとする人間の営みに内在する構造的な問題である。厳しい自然を克服し、如何なる場所に置いても快適な環境を提供しようと、建設や都市計画はたてられる。また操作や機能を単純化、扱いやすさを中心においた商品設計が人に優しい商品として消費者に受け入れられる。

1990年初頭、地球環境に関する世界的な関心の高まりを背景に、1992年（平成4年）6月ブラジルのリオ・デジャネイロにおいて、「環境と開発に関する国連会議」（地球サミット）が開催された。持続可能な開発の実現のため、環境と開発を統合することが目的である。そのサミットにおいて採択された「アジェンダ21」は具体的な行動計画で①社会的経済的要素②開発のための資源の保全③主要な社会構成員の強化④実施手段の4部構成で全40章からなっている。その中で、大気保全、森林、砂漠化、生物多様性、海洋保全、廃棄物対策などの具体的なプログラムを示すとともに、その実施のため資金、技術移転、国際機構、国際法のあり方なども規定している。この十数年前より、廃棄物海洋投棄を規制するロンドン条約発効が行われ、また容器包装に関して、ドイツ、イギリス等、EU加盟国での対応は早く、着実に成果が現れ始めている。

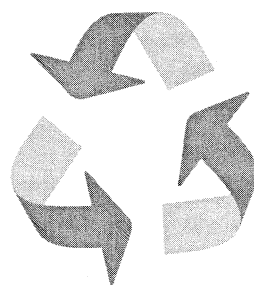
かなり以前よりNHK等で、環境問題に関する放映は何度も視聴したことはあるが、意識の片隅には残るものの、私個人を含め社会的な環境保全行動は表だって取られていなかった。しかしここ数年、新聞やテレビなどで環境や、廃棄物に関して盛んに取り上げられるようになっ

たり、またゴミゼロエミッション宣言をする企業が増加している。

消費者の環境保全に対する意識の高まりは、商品選択をする際の選択肢になりかねないとして、メーカーも重い腰を上げたことは、非常に大きな変革で、商品開発の考え方を根底から覆すことである。冒頭に書いたが、人間が快適に、便利に、を目標に生産を繰り返してきたことが、実は地球全体の環境を劣化させていることに気が付く。一昔前「使い捨の時代」なんて言っていた浅はかさは、私達の反省をするべき所である。

地球環境に関する問題は、技術的な問題では解決困難で、社会的、経済的、政策的な視点を持つことが必要である。社会的活動である商品開発に当たっては、開発段階で商品廃棄時を考慮するのは当然で、これまでの商品開発とは意識の変革を必要とする。

地球全体のエネルギーは有限であり、こうした環境を意識した商品開発の成果は見えにくくはあるが確実に次世代に影響を与えるものであるから、意識を新たに視野を広く持って商品開発に取り組みたいものである。



Recycle
Reduse
Reuse

(岐阜県工業技術センター・井戸)

事務局だより

会員と事務局を結ぶページ

□寅年にあやかり、明るい経済に…□

あと旬日で平成9年は政治・経済とも混迷するうちに終わり、平成はついに2ケタの10年を迎えるところです。この1年間、組合員および賛助会員各位の経営環境はいかがでしたか。

さきに県中小企業団体中央会の主催で梶原知事との懇談会が開催されましたが、プラスチック

業界を代表して出席された児玉俊一副理事長は「業界は利益なき繁忙を強いられている。すでに企業努力は限界にきており、国・県の総合経済対策を期待する」と発言されました。

迎える新年は寅年、深夜の丑の刻から抜け出し、夜明け真近の寅の刻（午前4時前後）に入ります。その干支にあやかり、明るい経済環境を迎えたいものです。

□組合員名簿の住所録を調整中です□

平成10年2月から郵便番号が「7けた」になりますが、この機会に当工業組合では各組合員の住所録を調整しなおしているところです。本社所在地、電話番号、FAX番号などを変更されておられましたら、ご連絡ください。

《お知らせ》 工業組合事務局は12月27日から新年1月4日まで、年末年始の休暇に入りますので、ご連絡は早めにおねがいします。

1月24日に新年互礼会を開く

工業組合の新年初行事は、1月24日午後1時から、岐阜グランドホテルのロイヤルホールで『新年互礼会』を開催します。

開催内容は例年とは異にし、午後1時に開会、講演2題を聞いた後、午後3時50分から互礼会を開く予定です。講演は落語家の橘家仲藏師匠（演題はすぐに役立つヨイショと話術）とワコール総合事業企画室の三田村和彦部長（演題は売れない、はずまない時代の経営発想）を招きます。

互礼会にご出席され、大いに懇親を深めてください。

岐阜県のプラスチック 1997 138号

平成9年12月1日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番地1号

(岐阜産業会館4階)

電話 (058) 272-7173

FAX (058) 276-1525

岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 井森 秀敏

ポリエチレン

スミカセン®

エチレン酢酸ビニル共重合樹脂

エバテート®

ポリプロピレン

住友ノーブレン®

ポリスチレン樹脂

エスプライト

塩化ビニル樹脂

スミリット®

メタアクリルシート

スミペックス®

メタアクリル樹脂

スミペックス-B®

高密度ポリエチレン

スミカセンハード

熱可塑性エラストマー

住友TPE®

合成ゴムSBR

住友SBR®

合成ゴムEPR

エスプレックス®

エチレン酢酸ビニル

塩化ビニル共重合樹脂

スミグラフト®



住友化学工業株式会社

名古屋支店

〒460 名古屋市中区錦1丁目11番18号(興銀ビル)

電話 <052> 201-7571

創世ポリケム・パワー

質を創るトータル・ポリオレフィン・カンパニー



三菱化学と東燃化学との創造的な出会いから生まれたポリケムは、平成8年9月、質を創るトータル・ポリオレフィン・カンパニーをめざしスタートしました。ポリオレフィン樹脂のスペシャリストとして、国内では最大、世界でも有数の規模を誇るポリケムは、四日市・川崎・水島の3技術センターのそれぞれの特長を活かし、多種・多様で高品質のポリケム・バリューをお届けしてまいります。

技術と信頼の証 **ノバテック** NOVATEC

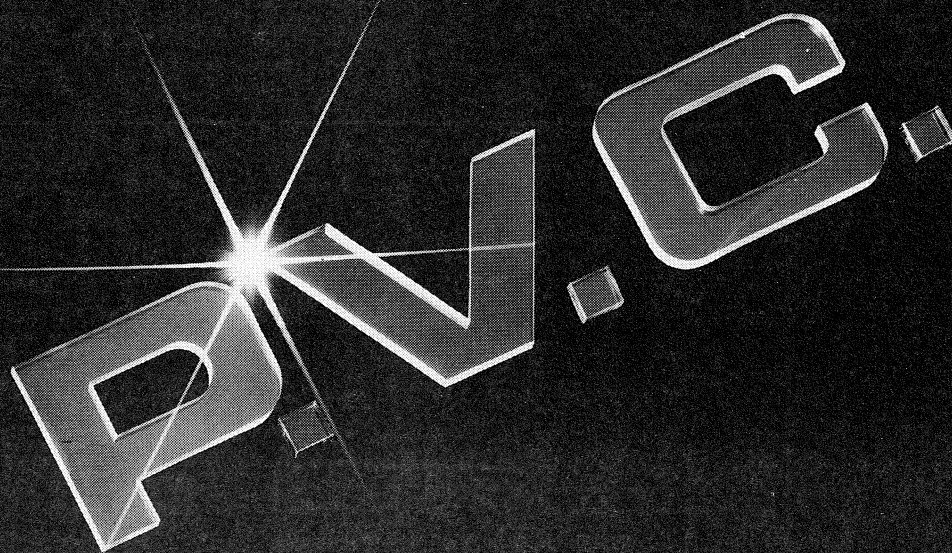
NOVAは「新星」。
ポリケムは、常に先進の技術革新に取り組み、最新・最良の品質のポリオレフィン樹脂「ノバテック (NOVATEC)」をお届けします。

高密度ポリエチレン	ノバテックHD
低密度ポリエチレン	ノバテックLD
直鎖状低密度ポリエチレン	ノバテックLL
直鎖状低密度ポリエチレン	ノバテックC6
エチレン-酢酸ビニル共重合樹脂	ノバテックEVA
ポリプロピレン	ノバテックPP

PC 日本ポリケム株式会社 東京都千代田区有楽町1-10-1 有楽町ビル 〒100
TEL 03-3287-8010 FAX 03-3287-8040

ShinEtsu 信越PVC

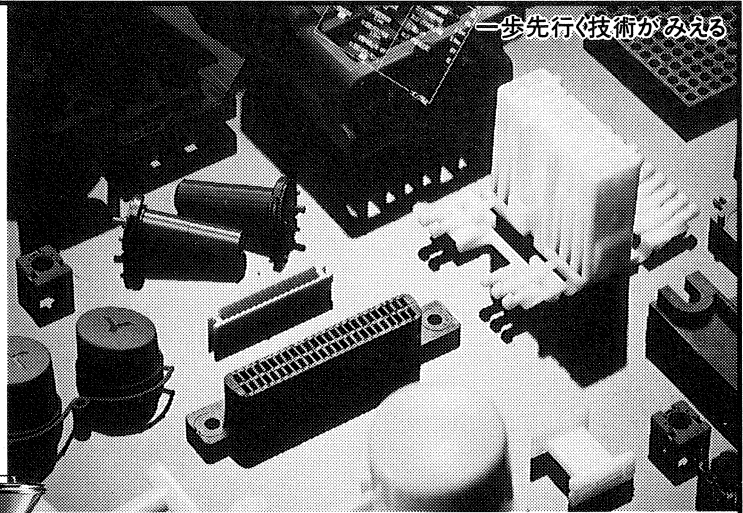
生活用品からエレクトロニクス材料まで——信越PVC



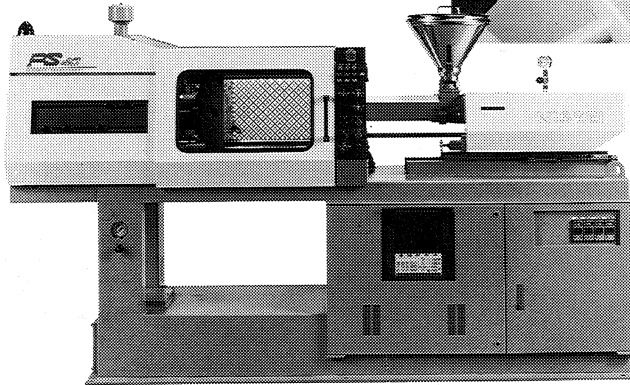
信越化学工業株式会社 名古屋支店 〒450 名古屋市中村区名駅4-27-23(名古屋三井ビル東館)
☎(052)581-0651

精密成形を究めると PSシリーズになる。

最新の電子コントローラを搭載し、射出性能と操作性を向上させ、FA対応においても一層の高性能化を図りました。新感覚の生産工場を実現する価値ある射出成形機、それがNISSEIのPSシリーズです。



一步先行く技術がみえる



NISSEI

日精樹脂工業株式会社

名古屋営業所 / 愛知県小牧市外堀2-167 ☎0568-75-9555(代)

岡崎出張所 / 愛知県岡崎市内六名4-1-8三剛ビル1F ☎0564-52-1430

三重出張所 / 三重県津市神戸横田203-4 ☎0592-24-0716

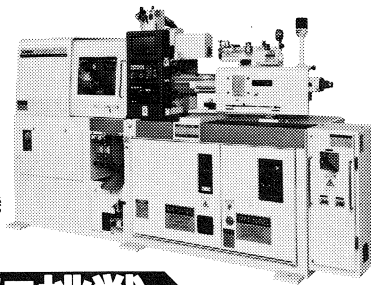
●本社・工場・技術研究所 / 長野県坂城町南条2110 ☎(0268)82-3000(大代表)

●東京事務所 ●テクニカルセンター / 本社・相模原・岩槻・名古屋・大阪

●営業所 / 全国11ヶ所 ●出張所 / 全国20ヶ所 ●海外サービスステーション / 28ヶ所

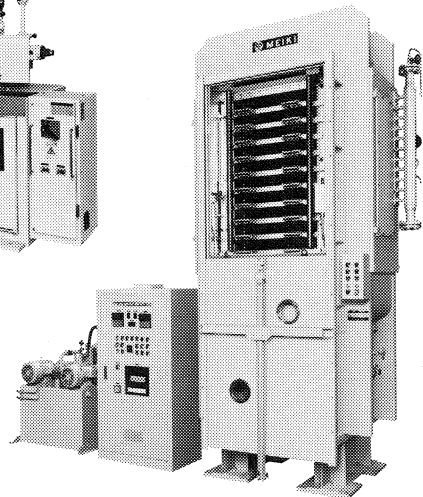
MEIKI

DVD専用機

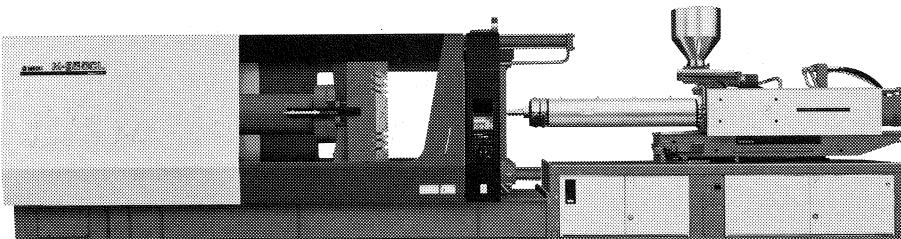


ハイテクノロジーに挑戦

プラスチック、光ディスク (DVD) 射出成形機、IC基板成形プレス等、先端技術加工機を生産して、世界の名機として活躍しています。



IC基板成形プレス



プラスチック射出成形機

 株式会社 名機製作所

本社・工場 〒474 愛知県大府市北崎町大根2 ☎<0562>48-2111(代)

中部支店 〒474 愛知県大府市北崎町大根2 ☎<0562>47-2391(代)

岐阜出張所 〒501-61 岐阜県羽島郡岐南町上印食8-104 ☎<058>247-2674

化学の、もっと大きな可能性へ。

私たちがめざすのは、新しい時代の化学会社。

よりグローバルに、よりダイナミックに、もっと大きな可能性を求めて、

三菱化学は世界の期待に応えます。

三菱化学

▲三菱化学株式会社 東京都千代田区丸の内2-5-2 〒100(三菱ビルディング) Telephone: 03-3283-6274(ダイヤルイン)



生きてる素材。

三菱レイヨンのプラスチック

メタクリル樹脂 / 板状品

アクリライト[®]

メタクリル樹脂 / 射出成形材料

アクリペット[®]

ABS樹脂

ダイヤペット[®] **ABS**

三菱レイヨン

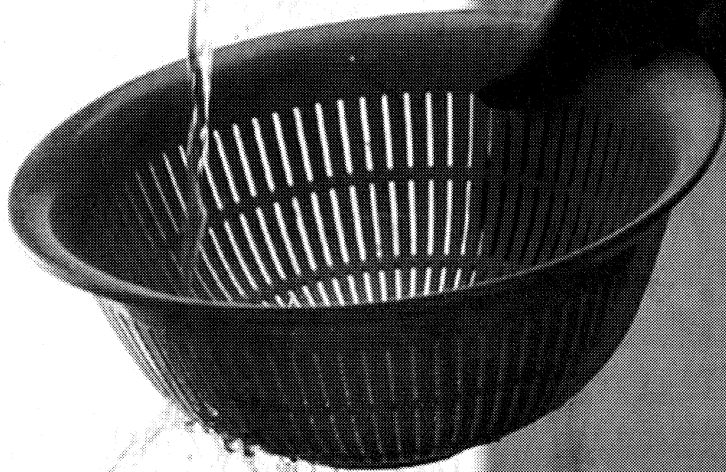
東京(272)4321 / 大阪(202)2241 / 名古屋(561)6711

くらしのこだわり…

**HOME &
HOME**

-RISU BASIC-

リス
croissante



より洗いやすく、より快適に。

キッチンウエアはいつも清潔にしておきたい。

そんな要望にお応えして、リスは「より洗いやすい」形状と素材を開発しました。

キッチンウエア 3つのPoint

ポイント
2

洗い易いかたち

余分な凹凸を無くし、洗浄がラクラク

ポイント
1

汚れ防止加工

台所の汚れが付きにくく落ちやすい
特殊加工の素材を使用しています

ポイント
3

抗菌 めめり防止加工

半永久効果持続、無機系抗菌剤だから安心

リス株式会社

岐阜プラスチック工業株式会社

岐阜プラスチックグループ

●本社：岐阜市神田町9丁目25番地
TEL：<058>265-2233

●リスパック株式会社 ●リスエンジニアリング株式会社
●リス株式会社
●リス興業株式会社